



深田久弥

# 山の文化館だより

令和6年  
春号

深田久弥 山の文化館  
〒920-0067  
石川県加賀市大聖寺森場町十八  
TEL 〇七六二七二一三三  
FAX 〇七六二七二一八二

## カシミール3Dを

### 一緒に楽しみませんか

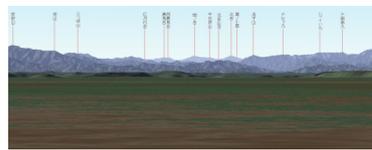
カシミール3Dは1994年に杉本智彦さんによって発表された山岳展望のためのソフトである。ということ、もうすでに三十年の歳月が流れていることになる。利用しつくした方にとっては今更の感があるが、ご存じない方もある。私自身も二十年近く使っているが、高度な利用には程遠い状態である。自分の山登りの際はもちろん、山の文化館の展示にも結構利用してきた。

桶川、西出両氏の「白山の見える頂」と題する新聞連載を紹介する展示をした。その時には、写真もお借りしたが、それぞれの頂から見る白山を作図して展示した。同時に、逆の発想で「白山から見える山々のパノラマ」を作って展示した。このパノラマは今も利用している。山で写してきた写真の山座同定に、久弥さんの著作『車窓から見える山』に登場する眺めの再現に、ま

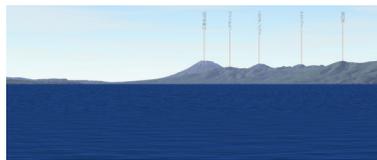


た、北前船から見た陸地の山の眺めはいかに等いろいろ利用して来た。『霧ヶ峰での一夏』での山岳展望の再現にも使い、大いに納得した。

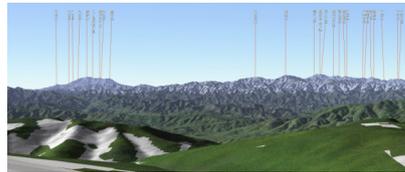
もっと高度な利用法があるので挑戦してみたい。一緒に研究して、カシミール3Dを楽しみませんか。「カシミール3Dクラブ」を作り活動したいと思います。詳しくは夏ごろまでに山の文化館ホームページでお知らせします。ご参加をお待ちしております。



六郷橋梁から白峰三山



北前船からの眺め



霧ヶ峰からの乗鞍岳～御嶽山

## この一冊

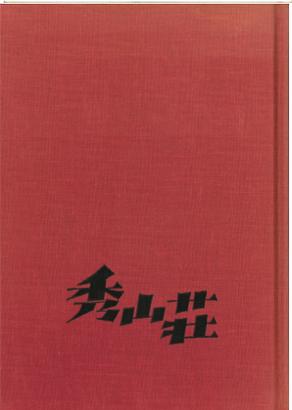
『辻まこと山とスキーの広告画文集』というちょっと長い表題の一冊がある。これは山とスキーの店、「八重洲秀山荘」が創業三十年を記念して、昭和五十六年五月に発行した非売品の本である。

辻まこと山とスキーの広告画文集

秀山荘

学生時代に山岳雑誌でよく目にした秀山荘の漫画付き広告が満載されていて飛びついたのでの画文も風刺とユーモアの利いたものばかりで楽しい。辻まことならではの世界観がそこにはある。いろんな方々が寄稿しているが、読めば、戦後の海外遠征や南極越冬隊に関わった人たちの話も出てくる。また、新婚旅行に冬の上高地に行った女優の八千草薫さんの文章も載っている。付録には開店二年目ぐらいの価格表も付いている。その中に載っている登山靴はまだナールゲル靴である。

平成二十二年に、まえがきと一部の文章が入れ替えられて再版された。本の体裁は同じである。オリジナルのものを渡すことが出来なかった人々に渡したいと言う店主の想いで、相当多く作られたようである。同時に、山と溪谷社からも同じものにカバーを付けて、初版第一刷として出版された。



## 久弥と五万分の一地形図と赤鉛筆と

その25

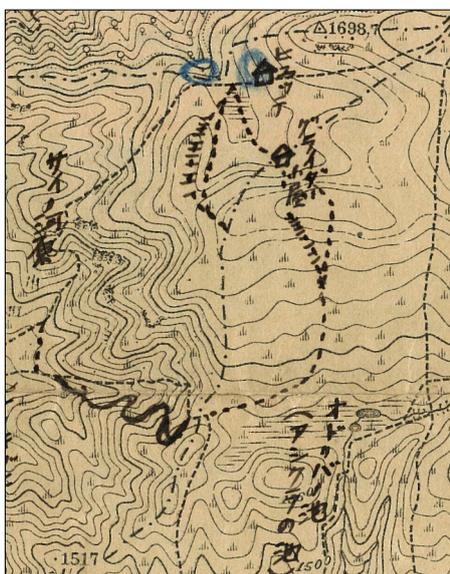
五万分の一地形図の折り畳んだ表に霧ヶ峯と大きく書かれたものがある。地勢図「長野」の十六番「諏訪」である。これには、多くの書き込みがあるようなので出してみた。残念ながら赤鉛筆の線はなかった。蝶々見山、物見山、大笹峯、物見岩、御射山、株ッ丁、オドリバノ池(アシクラの池)、サイノ河原、と多くの地名が書き込まれている。ヒュッテ霧ヶ峯とグラフィター小屋のマークが書き込まれており、ヒュッテの周辺には歩いたルートがいくつも引かれている。この中でルートの横に奇妙な印のある所が二か所ある。カタカナの「エ」の連続かと思っただがそうでもない。と言うのは、深田久弥の「霧ヶ峯の一夏」に、ヤギの啼き声は「エエエエ」と聞こえると書いてあったからである。ほかに物見山、御射山、八島ヶ池周辺に歩いたルートが書き込んである。



深田久弥は昭和九年(1934)二月に蓼科の親湯から霧ヶ峯に行き諏訪に下っている。しかし、地図への書き込みはこの時のものではないようである。次の年、昭和十年(1935)には、七月下旬から九月初旬までの一夏をヒュッテ霧ヶ峯で過ごししている。この時は八穂を伴っ

ているし、小林秀雄も行動を共にしている。着いた翌日には、ヒュッテの主の長尾宏也さんを連れ出し八島ヶ池から鷲ヶ岳に登っていた。その後も勉強につかされると近所を歩き回っていた。また、周りに見える山々の展望も楽しんだ。八ヶ岳、木曾駒、御嶽、乗鞍、北アルプス、富士山。この展望はカシミール3Dでも作図してみたが豪華な眺めである。この地図の書き込みはこの時期歩き回った時のものであるろう。

また、この間には、八月六日から南アルプス光岳へ行っているし、八月十七日から五日間は「山の會」が開かれている。この会は梓書房の岡茂雄が企画し、久弥も計画、準備に携わっている。柳田國男、武田久吉らを講師に招き著名な方々が二十人ほど集まった。この一夏の様子は「霧ヶ峯の一夏」(『山岳展望』)に詳しい。



ヒュッテ霧ヶ峯周辺地図

### 聞こう会

会場：深田久弥山の文化館 聴山房  
時間：午後一時三十分～三時

#### ◆四月十四日(日)

演題：白山の登山ルートの特徴・魅力と登山道等の施設の管理について  
講師：村中克弘氏(白山自然保護センター 前次長)

#### ◆五月十九日(日)

演題：ふるさとの自然環境の変化  
—植物について—  
講師：川崎与四郎氏(石川県自然解説員 研究会)

#### ◆六月二十三日(日)

演題：登山ガイド・自然ガイドのお仕事  
講師：佐野弘明氏(石川県自然解説員研究会・信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ)

### 読書会

会場：深田久弥山の文化館

時間：午後一時三十分～三時

#### \*四月二十六日(金)

『日本百名山』より「大台ヶ原山」

#### \*五月二十四日(金)

『日本百名山』より「燧岳」

#### \*六月二十八日(金)

『日本百名山』より「巻機山」

ホームページもよろしく

<https://yamanobunkakan.com>

 深田久弥山の文化館



山文HP